

MI_2086: 加熱装置（E）または熱交換器（G）交換後のホットエア温度センサーeSTL（電気式安全温度リミッター）の制動



iCombiClassic & iCombiPro E & G



標準 / 追加



2025/11/25

注記

非常に重要：温度センサーのeSTLは絶対に曲げないでください！

修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項：

電気式ユニットの表にあったねじ留めされたソケットとスペーサープレート付きのバリエーションが削除されました。

温度センサーeSTLを交換するためには、ユニットのサイドカバーを取り外す必要があります。iCombi 10 1/1E、10 2/1E、20 2/1E（上部および中央部のセンサー）では、温度センサーeSTLが直接見えます。iCombi 10 1/1G、6 1/1G、20 1/1G、10 2/1G、20 2/1Gでは、温度センサーeSTLはガス排気の後ろにあります。iCombi 20 2/1E（一番下のセンサー）では、温度センサーはI/Oボードのアセンブリプレートの後ろにあります。

加熱装置（E）、熱交換器（G）、またはホットエア温度センサーeSTL（E & G）を変える際、お使いのユニットに以下の特徴が見られる場合には、ホットエア温度センサーeSTLを調整する必要があります。

電気式ユニット :

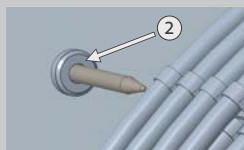
ホットエア温度センサー-eSTLのソケットが溶接されている。



1 溶接されたソケット

調整が必要です！

ホットエア温度センサー-eSTLのソケットがねじ留めされている。



2 ねじ留めされたソケット

調整が必要です！

ガス式ユニット :

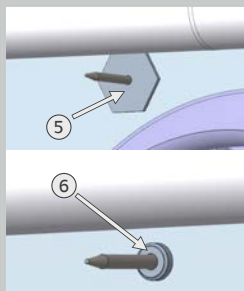
ホットエア温度センサー-eSTLのソケットが溶接されている。



4 溶接されたソケット

調整が必要です！

ホットエア温度センサー-eSTLのソケットがねじ留めされている (幅の大きいものまたは小さいもの)



5 ねじ留めされたソケット (大)
6 ねじ留めされたソケット (小)

調整の必要はありません。

必要なコンポーネント :

キット (品番 : 87.01.856S) を使用してください。

組み立てを実行するには、以下のツールが必要です。

- 温度センサーeSTL用のソケットレンチまたはラチェット、キー幅 #14
- 特別RATIONALツール (適切なツールがパッケージに同梱されています) :
 - 91.01.321 RATIONALツール1 : 温度センサーと加熱装置/熱交換器の間の距離を確認するための限界ゲージ。
 - 91.01.346 RATIONALツール2 : 温度センサーと加熱装置/熱交換器の間の距離を確認するための限界ゲージ。
 - 91.01.311 RATIONALツール3 : 温度センサーeSTL制動用アーバー

調整の理由は以下のとおりです。

生産時の許容誤差ならびに、ホットエアー温度センサーeSTLの正確な位置の必要性から、センサーと加熱装置/熱交換器の間の距離を各ユニットごとの特定の値をもとに正しく設定する必要があります (適切な制限ゲージが同梱されています)。



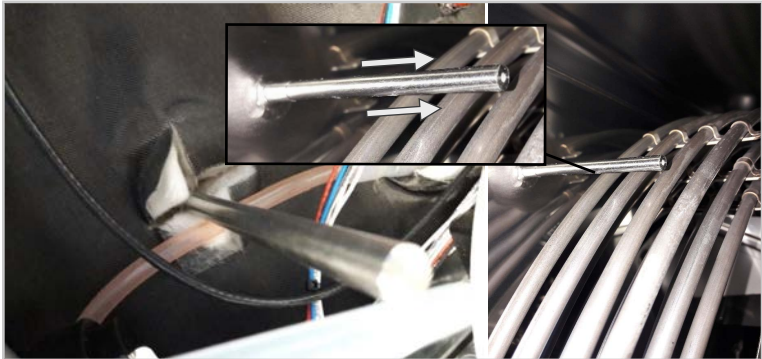
注記

お忘れなく！温度センサーはそのまま曲げると損傷します。キットに同梱のアーバーを使用してください。

調整には以下のステップが必要となります。

- a. 温度センサーeSTLのナット (幅 #14) をゆるめ、センサーを取り外します。ナットを動かし、ガス式ユニットで調整を行うには、蒸気ガス排気を取り外す必要があります。
- b. 必要に応じて、加熱装置 (E) または熱交換器 (G) を交換します。温度センサーeSTLのみを交換しなくてはならない場合、これは不要です。
- c. 調整の前に温度センサーeSTLを再びソケットに取り付けないでください。

d. 調整のために、アーバーを設置側から溶接またはねじ留めされたソケットにできるだけ奥まで通します。



- e. 限界ゲージを使用して、アーバーと加熱装置/熱交換器の間の距離をチェックします。アーバーの直径は温度センサーeSTLと同じです。
- お使いのユニットに適した限界ゲージを選び、以下で垂直の太い線で示されているように、ゲージ上でお使いのユニットに適した範囲を確認してください。202 Eの場合、2つの異なる範囲が必要です。

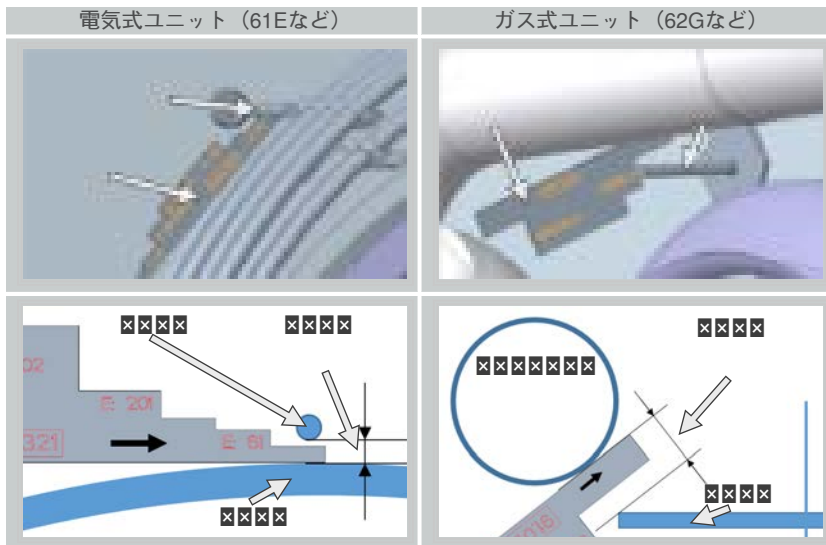
RATIONALツール1 : 91.01.321	最小	最大	限界ゲージ
102 G、201 G、202 G	10 mm	25 mm	91.01.321
61 E	3 mm	6 mm	
201 E	8 mm	13 mm	



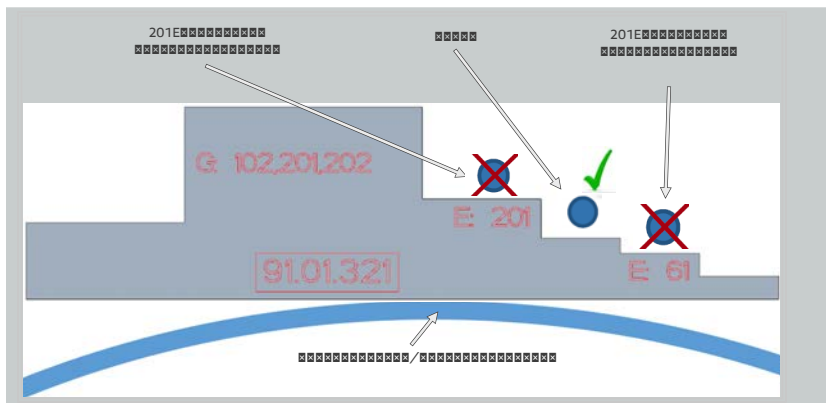
RATIONALツール2 : 91.01.346	最小	最大	限界ゲージ
61 G、62 G、101 G	7 mm	18 mm	91.01.346
101 E	3 mm	5 mm	
62 E、202 上部加熱装置	5 mm	10 mm	
102 E、202 E 中央&下部加熱装置	10 mm	13 mm	



- アーバーと加熱装置（E）または熱交換器（G）の間の正しい範囲に限界ゲージを当てて、間隔を確認します。ガス式ユニットでは、アーバーと熱交換器の最短距離を測定するような角度で限界ゲージを当てる必要があります。



- 距離の評価。 例：電気式ユニット201Eの場合。



- a. 距離が範囲外にある場合は、アーバーを使用してソケットを正しい位置に曲げ、距離を再び確認します。



- b. 距離に問題がなければ、温度センサー-eSTLを溶接またはねじ留めされたソケットに再び取り付けます。
- c. 最後に、取り付けした温度センサー-eSTLと加熱素子の間の距離をチェックします。
- d. 蒸気ガス排気とその他すべてのコンポーネントを再び取り付けます。
- e. 最後に、影響を受けるすべてのガスコンポーネントでガス漏れテストを実施することを忘れないでください。